

試験日程及び試験科目

○日本画領域

試験日	令和3年2月7日(日)	
時間	10:00～14:00	14:00～
試験内容及び方法	デッサン(人体) ※持参すべき試験用具 鉛筆、消しゴム、ナイフ	作品審査及び面接 ※提出すべき作品等について ①作品:6ヶ月以内に制作した未発表の日本画50号2点 ②写真資料1冊(過去4年以内の作品・デッサンの写真をA4サイズファイル1冊に入れる。) ③模写・保存修復の希望者は、自己の研究分野について800字以内のレポートを提出
※提出すべき作品等について 【提出場所】 日本画会議室 【搬入日及び時間】 令和3年2月6日(土)13:00～16:00まで 【搬入方法】 受験者本人が行うこと。 【搬出日及び時間】 令和3年2月7日(日)全試験終了後～16:00まで 令和3年2月8日(月)9:00～12:00まで 【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合 ①2月6日(土)の10:00～15:00に必着とする。 ②届先欄に、あて先(愛知県立芸術大学日本画)及び出願者氏名を記入すること。 ③梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入のこと。 ④運送業者からの受け取りは本人が行うこと。 ⑤提出場所への搬入手続きは、本人が梱包を解き、行うこと。 ⑥作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前に行うこと。		

実技試験

時間	3時間
試験問題	人物をデッサンしなさい。

○油画領域

試験日	令和3年2月7日(日)
時間	10:00～
試験内容及び方法	<p>作品審査及び面接</p> <p>※提出すべき作品等について</p> <p>①提出作品は2点以内(版画の場合3点以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面作品の場合、1点のサイズが270×200cm以内 ・版画作品の場合、1点のサイズが200×200cm以内 ・立体、その他の場合、1点のサイズが270×200×200cm以内(映像作品の場合、映写機・パソコン等ハードウェアと共に、使用説明書を添えて提出すること。) <p>※206×100cmのドアから搬入可能なもの</p> <p>※添付表を貼る場所は、当日指示します。</p> <p>②ドローイング等のファイル1冊(ファイルに綴じていないものは受け付けない。)</p> <p>③写真資料ファイル1冊(過去4年以内の作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。)</p> <p>※②③とも添付表はファイルの表紙に貼ること。</p>
<p>※提出すべき作品等について</p> <p>【提出場所】 油画アトリエ</p> <p>【搬入日及び時間】 令和3年2月6日(土)10:00～15:30までに受付を済まし、16:00までに設置を完了すること。</p> <p>【搬入方法】 受験者本人が行い、指定された場所に設置すること。</p> <p>【搬出日及び時間】 令和3年2月7日(日)全試験終了後～16:30まで 令和3年2月8日(月)9:00～12:00まで</p> <p>【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> ①2月6日(土)10:00～14:00に必着とする。 ②届先欄に、あて先(愛知県立芸術大学油画アトリエ)及び出願者氏名を記入すること。 ③梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入のこと。 ④運送業者からの受け取りは本人が行うこと。 ⑤提出場所への搬入手続きは、本人が梱包を解き、行うこと。 ⑥作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前にしておくこと。 	

○彫刻領域

試験日	令和3年2月6日(土)	令和3年2月7日(日)
時間	15:30~17:00	10:00~
試験内容及び方法	論述(辞書は使用不可) 配付する用紙に800字以内	作品審査及び面接
<p>※提出すべき作品等について</p> <p>①近作1点(各自で責任をもって搬入から搬出を完了できるものとする。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品は1トン以内で、4×4×4m以内に提出可能なもの。 ・映像を用いたものは5分以内とする。再生・投影に必要な機材は各自で準備し、視聴できる状態に設置すること。 <p>②ポートフォリオ(サイズはA4以上とし、オリジナル作品も可)</p> <p>【提出場所】 彫刻アトリエ</p> <p>【搬入日及び時間】 令和3年2月6日(土)10:00~15:00までに①と②の提出を完了すること。</p> <p>【搬入方法】 受験者本人の責任において行うこと。</p> <p>*作品搬入、設置に特別な措置を必要とする場合は、必ず事前に彫刻専攻会議室へ連絡すること。</p> <p>*安全衛生管理上、支障のある作品は受理しません。</p> <p>【搬出日及び時間】 令和3年2月7日(日)16:00~17:00まで 令和3年2月8日(月)9:00~11:00まで</p> <p>【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> ①運送業者に委託する旨を、作品到着日までに彫刻専攻会議室へ連絡すること。 ②2月5日(金)の10:00~15:00に彫刻専攻会議室へ必着とすること。 ③届先欄に出願者氏名を記入すること。また、品名欄に「美術研究科博士前期課程彫刻領域出願作品」と記入すること。 ④梱包に【美術研究科博士前期課程彫刻領域出願作品在中】と朱書で記入すること。 ⑤作品の提出及び手続きは、2月6日(土)に本人が梱包を解き、行うこと。 ⑥作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前に行うこと。 		

論述試験

試験問題	以下の「」内の問いに対する回答を、配布された回答用紙に800字以内で記しなさい。 「あなたの作品制作の動機とは何ですか」 (辞書は使用不可)
------	--

※令和4年度入試より、彫刻領域の試験科目「論述試験」を廃止しました。

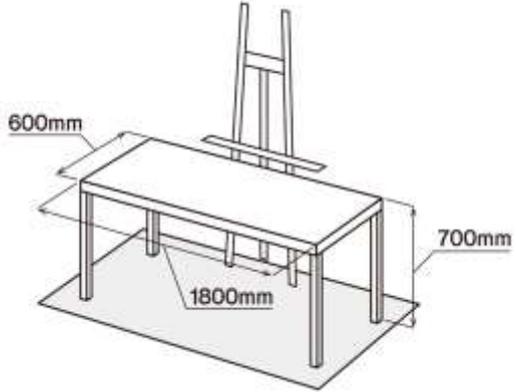
○芸術学領域

試験日	令和3年2月7日(日)		
時間	10:30~12:00	13:00~14:30	15:00~
試験内容及び方法	外国語試験 外国語(英・独・仏・伊)のなかから2科目を選択受験、あるいは英語と日本古典語(古文・漢文)の2科目を受験する。	論述試験 「日本美術史」「西洋美術史」「美学」「現代アート論」のなかから2科目(そのうち一つは必ず志望研究分野の科目)を選択受験する。	面接
<p>※提出すべき論文について</p> <p>志望研究分野(「日本美術史」「西洋美術史」「美学」「現代アート論」)に関する論文(卒業論文等)を提出する。論文には2,000字程度の要旨を添付すること。外国人受験者も、必ず2,000字程度の日本語で書かれた要旨を添付すること。</p> <p>【提出先】 愛知県立芸術大学入試課</p> <p>【提出日】 令和3年1月4日(月)から7日(木)まで (最終日の午後5時までに郵便で必着とする。)</p> <p>【提出方法】 封筒(A4サイズの入る大きさ)に入れ、「美術研究科博士前期課程芸術学提出論文」と朱書きし、簡易書留(書留可)郵便で郵送すること。</p> <p>【注意事項】 令和3年3月本学芸術学専攻卒業見込みの者で、卒業論文が研究科における志望研究分野と一致する者は、論文ならびに要旨を提出しなくてもよい。</p>			

試験問題	<p>外国語試験(昨年受験があった2科目のみ掲載)</p> <p><u>[英語]</u></p> <p>次の英文を、全文和訳しなさい。</p> <p>【出典】 Doryun Chong, Michio Hayashi, Kenji Kajiya, Fumihiko Sumitomo. ed., <i>From Postwar to Postmodern: Art in Japan 1945-1989</i>. The Museum of Modern Art, New York, 2012, pp. 89-90.</p>
	<p><u>[日本古典語]</u></p> <p>設問一 次の文章は、平安時代の清少納言による『枕草子』の一節である。現代語訳を書きなさい。</p> <p>【出典】清少納言『枕草子』</p> <p>設問二 次の文章は、中国・北宋時代の文人、郭若虚による画史『図画見聞誌』の一節である。現代語訳を書きなさい。</p> <p>【出典】郭若虚『図画見聞誌』</p>
	<p>論述試験(昨年受験があった2科目のみ掲載)</p> <p><u>[日本美術史]</u></p> <p>問題：次の二問のうちから一問を選択しなさい(六〇〇字程度)。 (一) 中国大陸や朝鮮半島から日本へ伝来し、影響を与えた美術について、一つ具体例を挙げて述べなさい。 (二) 浮世絵について、その始まりから発展、近代へと至る流れを略述しなさい。</p>
	<p><u>[現代アート論]</u></p> <p>問題：次の二問のうちから一問を選択して論述しなさい(六〇〇字程度)。 (一) 「シュルレアリスム」について論じなさい。 (二) 「もの派」について論じなさい。</p>

※試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。(閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで)

○デザイン領域

試験日	令和3年2月7日(日)
時間	9:30～
試験内容及び方法	<p>作品審査及び面接 ※提出すべき作品等について</p> <p>①作品及び資料ファイル 映像あるいはデジタルデータ作品は、ビデオ・モニター・パソコン等を各自で準備し、上映できる状態に設置すること。 資料ファイルは、A3サイズのファイル1冊にまとめること。</p> <p>②研究科入学後の研究概要等の提出 研究内容及び、研究計画書をA4用紙2枚以内に記入したもの(受験番号を明記しホチキス止めしたもの)を11部用意し搬入受付時に受験票送付時に指定する場所に提出すること。 注意事項：面接時間は、2月6日(土)の搬入時に指示する。</p>
<p>※提出すべき作品等について</p> <p>【提出場所】 ①作品：講義棟指定場所 ②研究科2年間の研究テーマ等：講義棟指定場所</p> <p>【搬入日及び時間】 令和3年2月6日(土)13:00～16:00までに設置すること。</p> <p>【搬入方法】 受験者本人が行い、指定された場所に設置すること。</p> <p>【搬出日及び時間】 令和3年2月7日(日)全試験終了後～18:00まで</p> <p>【注意事項】 運送業者に搬送を依頼する場合 ①2月6日(土)13:00～16:00の搬入時間内に受験票送付時に指定する場所必着とし、運送業者からの受け取りは本人が行うこと。 ②届先欄に、あて先(愛知県立芸術大学デザイン)及び出願者氏名を記入する。 ③梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入のこと。 ④作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前にしておくこと。</p> <p>【作品展示】 各受験者が使用できるスペースは下記となります。※下図を参照して下さい。 ・床面：(幅)約2000mm×(奥行き)約1000mm ・机：(幅)1800mm×(奥行き)600mm×(高さ)700mm ※使用できるスペースに納まる作品であること。 ※作品は1人で搬入できるものとします。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><備考> ※床面のスペース内に机が用意されています。 ※机下の床面は使用できません。 ※作品を展示するためのイーゼルは持ち込み禁止とします。イーゼル(大)を本学から1人1脚まで貸出します。</p> </div>	
	

○陶磁領域

試験日	令和3年2月7日(日)	
時間	10:00~12:00	13:00~16:00
試験内容及び方法	作品審査及び面接 ※提出すべき作品等について ①3点 (6ヶ月以内に制作した作品、セットものは1点とする。)	実技(平面表現) ※持参すべき試験用具 ①平面表現に必要な用具(自由) ②用紙は本学で用意したものを使用する。
※提出すべき作品等について 【提出場所】 陶磁実習棟(講義室) 【搬入日及び時間】 令和3年2月6日(土)14:00~16:00まで 【搬入方法】 受験者本人が行い、指定された場所に展示すること。 【搬出日及び時間】 令和3年2月7日(日)試験終了後16:00~16:30までに本人が行うこと。 【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合 ①2月6日(土)の12:00~14:00に必着とする。 ②運送業者からの受け取りは本人が行うこと。 ③届先欄に、あて先(愛知県立芸術大学陶磁)及び出願者氏名を記入する。 ④梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入のこと。 ⑤作品の搬入手続き及び展示は、2月6日(土)に本人が梱包を解き、行うこと。 ⑥作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前にしておくこと。		

時間	3時間
試験問題	手を自由に表現しなさい。 用紙は以下から選択しなさい。 ・画用紙・木炭紙

■令和3年度 博士前期課程入試
入 試 情 報

① 評価基準

		領 域	試 験 科 目	評 価 基 準
美術研究科 美術専攻	日本画		実 技 デ ッ サ ン (人 体)	描写力、表現力、空間認識力等をみる。
			作 品 審 査	日本画制作の基礎と研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
	油画・版画		作 品 審 査	創作表現における研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
	彫刻		作 品 審 査	提出作品とポートフォリオ、論述試験を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
	芸術学		外国語試験	読解力、ボキャブラリーの知識、翻訳能力をみる。
			論 述 試 験	専門領域に関する基礎知識、問題考察力、論理性をみる。
			論 文 審 査	論文の内容と水準をみる。
			面 接	適性、意欲をみる。
	デザイン		作 品 審 査	デザインの研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
	陶磁		実 技 (平面表現)	基礎的描写力に加え、画面構成力、造形力を評価する。
		作 品 審 査	陶磁制作の基礎と研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)	

② 点数配分

		領 域	実 技	作品審査	外国語試験	論述試験	面 接	合 計
美術研究科 美術専攻	日本画		200	800	—	—	—	1,000
	油画・版画		—	1,000	—	—	—	1,000
	彫刻		—	1,000	—	—	—	1,000
	芸術学		—	※300	300	300	100	1,000
	デザイン		—	1,000	—	—	—	1,000
	陶磁		300	700	—	—	—	1,000

※芸術学領域は、論文審査となる。